

あなたの納めた税金は どのように使われたのか

決算審査・各常任委員会報告

平成25年度の一般会計歳入決算額は、80億23,449千円で(前年度比5.6%増)歳出総額は69億91,693千円(前年度比1.4%増)歳入の主なものは、地方交付税35億13,875千円(構成比43.8%)で町税は、8億23,522千円(構成比10.3%)と低い水準にあり、依然として主な財源は、地方交付税であり、2町合併からこれまで旧町毎に、合算額が交付され合併算定替えによる増加分が、平成25年度で5億59,910千円になり、この制度は、平成27年度の期間までで、平成28年度から、5年間かけて

委員長 松村慶次

総務文教常任委員会

平成25年度の一般会計歳入決算額は、80億23,449千円で(前年度比5.6%増)歳出総額は69億91,693千円(前年度比1.4%増)歳入の主なものは、地方交付税35億13,875千円(構成比43.8%)で町税は、8億23,522千円(構成比10.3%)と低い水準にあり、依然として主な財源は、地方交付税であり、2町合併からこれまで旧町毎に、合算額が交付され合併算定替えによる増加分が、平成25年度で5億59,910千円になり、この制度は、平成27年度の期間までで、平成28年度から、5年間かけて

社会福祉総務費は、予算額2億38,605千円に対し、決算額2億32,036千円となっている。高齢者福祉費、予算額2億77,610千円に対し、決算額2億75,867千円。地域包括支援センター費は、予算額37,697千円に対し、決算額35,602千円。児童福祉総務費は予算額3億41,640千円に対し、決算額3億26,880千円。一般会計繰出金は、国民健康保険事業会計へ、81,514千円、町立病院事業会計へ、2億19,714千円。社会福祉協議会に補助

委員長 杉村幸敏

厚生常任委員会

一般会計補正予算

一般会計補正予算
265,798千円を追加

平成26年
9月
定例議会
報告

総額 69億42,170千円に増額

平成26年9月定例議会が9月10日から19日までの10日間の会期で開催されました。

本定例会では、町長提出の平成26年度一般会計補正予算など11件(条例の一部改正3件、条例の制定3件、補正予算4件、その他1件)及び請願、意見書など議員提出の12件の議案が提案され可決されました。

また、平成25年度決算認定11件が提出され、各常任委員会において審査が行われ、本会議で委員長の報告のあとそれぞれ承認されました。

そして、執行部から平成25年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率などについて報告がありました。

今回の主な補正予算は、財政調整基金積立金2億円、菊水区域学校施設改修等整備計画策定業務委託料9,581千円、農地等災害復旧費の工事請負費12,200千円などとなっております。

平成26年度一般会計・特別会計補正予算

会計名	減額・追加	歳入歳出予算総額
和水町一般会計	2億65,798千円追加	69億42,170千円
和水町国民健康保険事業会計	3,564千円追加	16億44,431千円
和水町介護保険事業会計	62,615千円追加	16億96,618千円
国民健康保険 和水町立病院事業会計(収益的)	16,922千円追加	9億84,889千円

9月議会 議案審議

採決結果

平成26年9月議会定例会議案一覧(町長提出一覧)

条 例： 6件
 補正予算： 4件
 その他： 1件
 決算： 11件
 報告： 2件
 人事： 0件
 計 24件

議案番号	議案名	審議採決の結果
議案第38号	和水町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	全会一致原案可決
議案第39号	和水町報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	〃
議案第40号	和水町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	〃
議案第41号	和水町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	〃
議案第42号	和水町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	〃
議案第43号	和水町営住宅管理条例の一部改正について	〃
議案第44号	平成26年度 和水町一般会計補正予算(第4号)	〃
議案第45号	平成26年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第46号	平成26年度 和水町介護保険事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第47号	平成26年度 国民健康保険和水町立病院事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第48号	字の区域の変更について	〃
認定第1号	平成25年度 和水町一般会計歳入歳出決算	賛成多数原案認定
認定第2号	平成25年度 和水町国民健康保険事業会計歳入歳出決算	全会一致原案認定
認定第3号	平成25年度 和水町介護保険事業会計歳入歳出決算	賛成多数原案認定
認定第4号	平成25年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計歳入歳出決算	全会一致原案認定
認定第5号	平成25年度 和水町住宅用地造成事業会計歳入歳出決算	〃
認定第6号	平成25年度 和水町簡易水道事業会計歳入歳出決算	〃
認定第7号	平成25年度 和水町下水道事業会計歳入歳出決算	〃
認定第8号	平成25年度 和水町特定地域生活排水処理事業会計歳入歳出決算	〃
認定第9号	平成25年度 和水町春富財産区特別会計歳入歳出決算	〃
認定第10号	平成25年度 和水町後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算	賛成多数原案認定
認定第11号	平成25年度 国民健康保険和水町立病院事業会計決算	全会一致原案認定
報告第4号	平成25年度 決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	報告
報告第5号	平成25年度 和水町一般会計繰越精算報告について	〃

平成26年9月議会定例会議案一覧(議員提出一覧)

その他：12件
 計 12件

議案番号	議案名	審議採決の結果
	2015年NPT再検討会議に向けて日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書提出のお願い	採 択
	上和仁地区内、一部農道の町道編入に関する要望書	〃
	「手話言語法(仮称)」制定に向けた意見書提出請願書について	〃
	「農協改革」に関する請願書	〃
	住宅の新築・リフォームに対する助成制度の創設を求める陳情書	〃
	閉会中の継続審査について(各委員会)	原案決定
	議員派遣の件	〃
	閉会中の継続調査について(各委員会)	〃
発議第3号	2015年NPT再検討会議に向けて日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書提出について	全会一致原案可決
発議第4号	「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書提出について	〃
発議第5号	「農協改革」に関する意見書提出について	〃
発議第6号	今年の米価下落にあたって生産コストに見合う米価のため緊急対策を求める意見書提出について	〃

あなたの納めた税金は どのように使われたのか

決算審査・各常任委員会報告

建設経済常任委員会
 委員長 高 巢 泰 廣

経済課

農林水産事業費予算額4億5,904.7千円に対し歳出決算額は3億9,562.2千円、前年度比72.3%増の6,900千円の増額となっている。

商工費は予算額1億8,735.6千円に対し、歳出決算額は1億7,775.0千円で前年比28.5%増の5,570千円の増となっている。

林業費予算額25,000千円に対し24,397千円の歳出決算である。

建設課

土木費予算額7億5,473.0千円に対し、歳出額は6億3,820.1千円の支出額を計上、前年比12.2%増の1,557.1千円の増となっている。

特別会計

簡易水道事業、下水道事業、特定地域生活排水処理事業は、総額で54,618千円の次期繰越決算である。

41.4千円の減額決算であった。

建設課の主な事業として、54行政区等への土木費補助用木、米渡尾線等道路新設維持、河川維持、住宅管理費等の事業歳出となっている。

学校建設事業執行経費は、8億6,089.3千円である。

平成25年度歳入歳出決算額

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	継続費・繰越明許費繰越額	差引残額
一 般 会 計	74億30,549千円	80億23,449千円	69億91,693千円	38,794千円	9億92,961千円
国民健康保険事業会計	15億73,149千円	15億64,776千円	15億18,165千円		46,611千円
介護保険事業会計	16億26,331千円	16億44,210千円	14億97,623千円		1億46,587千円
特別養護老人ホーム事業会計	4億89,717千円	5億18,776千円	4億82,149千円		36,626千円
住宅用地造成事業会計	6,129千円	5,738千円	5,738千円		0千円
簡易水道事業会計	69,500千円	83,516千円	64,662千円		18,853千円
下水道事業会計	93,966千円	1億3,353千円	91,541千円		11,812千円
特定地域生活排水処理事業会計	97,634千円	1億19,331千円	95,379千円		23,951千円
春富財産区特別会計	281千円	1,612千円	131千円		1,480千円
後期高齢者医療事業会計	1億43,806千円	1億54,248千円	1億42,010千円		12,238千円

区 分	予算現額	収益的収入額	収益的支出額	差引残額
和水町立病院事業会計	9億52,533千円	9億3,975千円	9億126千円	3,849千円

※千円未満切捨て

陳情等の審査結果

受付番号	受付年月日	件名	審査結果	付託委員会
115	平成26年6月19日	2015年NPT再検討会議に向けて日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書提出のお願い	採択	総務文教 常任委員会
163	平成26年7月10日	上和仁地区内、一部農道の町道編入に関する要望書	採択	建設経済 常任委員会
193	平成26年8月6日	陳情書 国宝江田船山古墳資料館の新設等について	継続審査	総務文教 常任委員会
210	平成26年8月14日	軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情	継続審査	厚生 常任委員会
228	平成26年8月26日	「手話言語法（仮称）」制定に向けた意見書提出請願書について	採択	厚生 常任委員会
241	平成26年8月28日	「農協改革」に関する請願書	採択	建設経済 常任委員会
84	平成26年6月3日	住宅の新築・リフォームに対する助成制度の創設を求める陳情書	採択	建設経済 常任委員会

視察研修報告

『町民に信頼される議会』

品格と存在感のある議会』をめざして

和歌山県議会運営委員会委員長 小山 暁

去る8月20日・21日に向け、鹿児島県錦江町とさつま町の基本条例制定と議会報告会及び、住民懇談会等について視察してきました。

錦江町議会は、基本条例特別委員会と小委員会をそれぞれ立ち上げ、年間7回の特別委員会と9回の小委員会開催により、準備から結成まで、一年間を要し条例制定に至っています。

一方のさつま町議会は、平成17年3月に合併して以来、4年間の議会活動の集大成として条例が制定されています。

議会報告会並びに住民懇談会は錦江町が平成23年5月から、さつま町が条例制定と同時に開催、ともに年1回開催しています。

報告会の内容は、予算、決算の報告から議会活動報告、住民懇談会では、町政全般にわたる意見交換が実施されています。

2町を視察して思ったことは、いずれの町も、豊かなまちづくりの実現のため、町民に信頼される議会、品格と存在感のある議会を

めざして取り組んでいる両町議会の姿勢と実践活動に大きな刺激を受けました。



さつま町議会研修

視察研修報告

『新築同様・耐震強化された校舎』

耐震強化された校舎』

和歌山県議会総務文教常任委員会委員長 松村 慶次

9月2日・3日の2日間、常任委員、企画課長、教育課長7名で、研修を行った。

初日は、南阿蘇西小学校の耐震改修増築の経緯について、教育委員会より説明を受ける。

既存の校舎を活用し工法は、柱と梁を残し、新築同様の改修工事であった。土間も改修しバリアフリー化されている。

随所に保護者の要望、意見を取り入れた改修であり、工事費も1平方メートル当たり単価20万円位と説明があり、学校校舎の視察では、広々としたつくりで環境の良い校舎であると見受けた。

2日目は、大分県中津市で現在取り組んでおられる、定住自立圏構想について研修をした。

地方においては、大幅な人口減少と急速な少子化、高齢化が見込まれ、



耐震改修増築された南阿蘇村立南阿蘇西小学校

中心市と周辺市町村が相互に役割分担し、連携協力することにより、圏域全体として必要な生活機能確保することを推進し、地方圏における定住の受け皿を形成する組織であると説明を受けた。

実例として、周辺医療機関との連携、地域コミュニティバスの共同運行等の研修視察を行った。

視察研修報告

『介護予防体制の強化を図り運動機能向上に取り組む』

運動機能向上に取り組む』

和歌山県議会厚生常任委員会委員長 杉村 幸敏

厚生常任委員5名と職員2名の7名で、7月17日・18日の2日間で、福岡県の嘉麻市と行橋市の研修を行った。

初日は、福祉法人愛光会を視察。

この障がい者支援施設は、主に段ボール加工、洗剤ボトルのラベル付け、自動車部品加工などを行っていた。施設のスローガンは『自立を目指して頑張ろう・健康な身体をつくり体力をつけよう・みんな仲良く楽しくすごそう』を掲げている。

引き続き、特別養護老人ホーム松寿園の研修を行った。昭和48年の開設、定員は100名、老朽化のため今年度平屋建ての施設改築を行っている。

2日目は行橋市の介護予防について研修。

介護予防事業の取り組みは、住み慣れた地域で日常生活が送れるよう、



福祉法人愛光会視察研修

介護予防に重点を置き、認知症予防としての脳トレ・ニング教室や、運動機能の向上を目指して楽々トレーニングを公民館や集会所等を利用して実施されている。

『地域農業を守る・』

営農組織活動』

和歌山県建設経済常任委員会委員長 高 巢 泰 廣

建設経済常任委員会では、8月7・8日の日程で、大分県国東市及び、阿蘇市の視察研修を行った。

1日目は、国東市の農事組合法人見地生産組合の経営状況を視察した。

当組合は、平成元年に土地基盤整備事業を機会に大型機械を導入し農地利用組合を設立、平成15年に法人化を図り水稲湛水直播を導入、省力化栽培による低コスト化に取り組み、水稲13・2ha、麦、大豆等合計42・1haの作付面積を有し継続可能な経営が行われている。

又、国東市管内の生産組合法人15組織、任意組織35組合が組織され、少子高齢化から地域農業を守る行政当局の取り組みは大変参考になった。

2日目は、平成24年7月12日発生した大水害被害後の復旧状況を、県阿蘇地域振興局にて状況等の説明を受けた後、復旧工事現場（砂防事業、



阿蘇市復旧工事現場(砂防ダム)視察

河川改修、川幅拡幅、遊水池、輪中堤、護岸整備)を視察した。被害額は689億7,500万円に達している。自然災害から地域を守る対策、準備が日頃より必要と痛感した。

『議会活動を肌で感じる』

紙面づくり』をめざして

和歌山県建設経済常任委員会委員長 豊 後 力

議会広報委員会は、8月5日と6日に、長崎県東彼杵郡川棚町議会と西彼杵郡時津町議会を視察。

初日に川棚町議会視察。町の概況は、人口14,582名(7月1日現在)世帯数5,560戸・面積37・25km²、議会だより創刊号は昭和57年1月発行、発行部数は、5,300部、回数 は年4回を基本、平成13年4月号(第75号)で第16回町議会広報、全国コンクール奨励賞を受賞。

2日目は、時津町を視察。町の概況としては、人口、30,561名(7月1日現在)世帯数、12,876戸、面積20・7km²、議会だより継坊の発行部数は、10,200部、全ページカラー刷り、発行回数年4回、特別号として年2回発行、特別号は議会報告会(懇談会)分。

今回の研修で感じたことは、議会活動の状況を町民に分かりやすく知



時津町議会広報編集特別委員会視察研修

らせると共に、町民からの提言を取り入れながら読者の視線で紙面作りに努めたいと強く感じた研修でした。

姉妹都市訪問報告

4年ぶりに姉妹都市を訪問

訪問団議員 森 潤一郎

9月27日(土)から28日(日)にかけて、和歌山市の姉妹都市である韓国公州市を訪問した。

公州市との縁は、1873年、旧菊水町の「江田船山古墳」から発掘された出土品の中に、古代百済の都であった公州の武寧王陵(古墳)から発掘された出土品と酷似したものがあり、百済の都公州と旧菊水町は遠い古代から外交、文化の交流があったことは歴然たるものがあったため、全国でも珍しい「古墳が取り持つ縁」で、1979年9月15日に姉妹都市の提携を結んだ。

今回の公州市への訪問は、2010年以來4年ぶり、9月26日(金)から10月5日(日)にかけて開催され

た「第60回百済文化祭」に合わせた訪問となり、杉本議長を団長として、「なごみひよつとこ笑福隊」や「なごみ芸能団」など、総勢22名が訪問し、公州市街地でのパレードやステージイベントに参加した。

また、和歌山県と同様に公州市と姉妹都市を締結している山口市とフィリピンのバギオ市も参加しており、大変賑やかで有効な交流となった。

政治の世界では、日韓関係が決定的に良好であるとは言えない中での訪問であったが、自治体や市民レベルでは、その影響を感じることなく、今後も公州市長や市民との交流によって、相互理解が深まることを期待しながらの訪問であった。



市街地パレードのようす



歓迎式典のようす (左から杉本議長、山口市長、公州市長、バギオ市長)



町長の言う長寿命化構想とは何年先を見通した計画なのか？
 町長 耐用年数を70年から80年に引き延ばす改修措置である。

問 平成19年度実施の耐震度調査結果はどうなっているのか。

答 (学校課長) 菊水中央小学校の構造耐震指標が0.59、菊水管理教室棟が0.58となっている。

問 構造耐震指標が0.3以上0.6未満は、地震に対し倒壊又は崩壊の危険があると言われているが、そのような状況の中で、長寿命化構想が本当に可能なのか、大丈夫なのか伺いたい。

答 (町長) 長寿命化に、恐らく耐えうるだろうと考えている。

問 番城グラウンドでの学校建設が頓挫した場合、起債金額の一括償還について伺う。

答 (町長) 平成22年度から昨までの4カ年で、約8億3千万円の事業を執行、その内約5億6千万円の合併特例債と、約1億円の臨時交付金が活用されているが、一括償還の対象とならないよう今後有効活用を検討したい。

問 耐震改修にかかる総事業費の目算について伺う。

答 (町長) 確たるものではないが、目算で5億程度あれば済むのではないかと。



町長 町営住宅建設、宅地分譲を前向きに進める。
人口減少対策は。

問 人口減少対策は喫緊の課題だと思いが、毎年170人前後の減少が続いている現状を、どうとらえているのか。

答 (町長) ご指摘の通り、平均174人程度の減少が続いている。

要因は、自然減と転出であり、現在実施している定住施策が機能していないのが現状である。もう一味つけて取り組む必要があると思う。

低所得者用の町営住宅建設と宅地分譲が、人口減少対策の特効薬だと思いが、今後の取り組みの考えを伺う。

答 (町長) 対応策として、3つあるかと思う。

「雇用の場・子育て支援・町営住宅、宅地分譲」三目的の町営住宅の必要性は、如実に感じている。宅地分譲も含め、やる方向で前向きに検討していきたい。

問 現在の定住促進策「固定資産税減免制度・新婚さん定住促進奨励金・出産祝い金・高校までの医療費無料化」など支援策は充実している、足りないのは住宅だと思う。



小中学校の部活動について少子化による影響が懸念されるが今後の取り組みは。
 教育長 社会体育、地域専門クラブにも参加させていきたい。

問 県の方針では来年度から、運動部活動を学校外部組織が運営主体となり、社会体育へと移行していくと示しているが、南関町では、

体育協会と総合型地域スポーツクラブが合併して、学校部活動に外部指導者を派遣する取り組みが始まっている。

和木町でも部活動の維持が難しくなってきたことから、早期にこのような取り組みを始めていく必要があると考えるが伺う。

答 (教育長) 指導者、子供たちが活動する時間、それと同時に施設と、諸々のことをまだ検討しなければならぬ。

問 せっかくスクールバスがあるので、他校との合同練習やクラブ活動の交流も図れると思うが。

答 (教育長) 限定された条件で契約しており、スクールバスを練習試合や、大会の時に利用するということは、なかなか難しい面もある。

今後契約時に、課題として検討していきたい。



併設型と分離型に分けての小中一貫教育に問題はないのか。
 教育長 教育内容がきちんとしているので問題はない。

問 三加和地区では小中併設型の校舎が完成し4月から新たな小中一貫教育がスタートした。菊水地区では、問題は生じないのか伺う。

答 (町長) 三加和地域と菊水地域のタイムラグは所定より存在していた。

教育基本法、学習指導要領に基づいて本町の教育課程を作りあげ、すでに実施中である。

答 (教育長) 与えるカリキュラムの理念が同じ方向を向いていれば学校の形態が違って対応できる。

問 1. 菊水地区小中学校改修費用の提示は。

1. 既存校舎の改修活用趣旨は。
2. 併設型校舎建設中止の場合、1億円以上の捨て金が生じる、町長の思いを伺う。

答 (町長)

1. しかるべき専門家を入れた基本計画の策定費用承認をお願いしている。
2. 小学校統合事業と生活基盤充実の町づくりを同時平行で進めたから。
3. 断腸の思いであるがやむを得ない。

その後の事業計画で勘弁いただきたい。



副町長設置について。
町長 思いを一つにする方が
おられればお願いしたい。

問 副町長の設置について、町長の
思い考えを伺う。

答 (町長) 何方かにお願いする
ということになることは、間違い
ない。

問 町長は特に経済、財政面にお
いては長けておられる、この5ヶ
月間しっかりやって来ておられる、
町長1人でも出来る方と思う
が、意見を伺う。

答 (町長) 測量の為の除伐作業
が進められ、面積は21ha、期間は
平成27年7月までとなっている、
大雨対策としては調整池を整備し、
環境等に影響が出ないよう対策を
講じる、今後測量設計を終え、林
地開発の申請を県に提出する予定、
協定については、11月頃までに住
民説明会を開催し締結の予定であ
る。

受けて下さる方、そして私と思
いを一つにする方がおられればお願
いしたいと考えている。



**菊水中学校、菊水中央小学校の現場
みたらどうか(百聞は一見にしかず)。**
町長 希望の方には
見てもらいたい。

問 町長として、町政に取り組ま
れる政治姿勢及び、公約について
の予算計上の考えは。

答 (町長) 多くの町民の皆様と
対話し町づくりを急ぎ、健全な財
政を承継していきたい。
予算の計上については、もう少
し待ってほしい。

問 現状の菊水地区に於ける小中
学校の状況及び、今後の建設計画
について伺う。

問 現在の小中学校は雨漏り等が発
生し、問題があると思うが町長の
考えを伺う。

答 (町長) 現在校舎の雨漏り、
一部コンクリートの破片の落下等
の問題が発生しているが、長寿命
化改良事業で対応したい。



**国の農政改革は株式会社が農地、
農業の分野に参入する狙いがある。**
町長 中間管理機構の疑問はつきない、
後継者が残れる施策が必要。

問 国の農政改革は株式会社が農
地農業の分野に参入する狙いがあ
る。農地中間管理事業は貸し手と
借り手が希望を持てるのか。

答 (町長) 中間管理機構の設立
目的は、担い手への農地集積と集
約化を進め、担い手が管理耕作す
る面積を今後、10年かけて全農地
面積の80%までを集積するという
もの。新規就農は、40代以下を現
在の20万人から40万人に倍増させ、
農業法人は現在の1万2,500
社から5万社に拡大させることだ
が疑問はつきない。

問 今年及早場米の生産者米価は
昨年より2千円から3千円暴落し
ている。2年前は1万6千円で2
年前からすると6千円ぐらい下落
している。

答 (町長) 荒尾、玉名地域では
米相場の値落ち対策を講じている
自治体はない。

問 岩地区のアルファチーラ発電
事業工事の進捗と今後の予定につ
いて伺う。
**又、地区との環境保全協定等は
どうなっているのか伺う。**



**驚いたこと！和水町民総合ラウンド(通称番城ラウンド)
に民有地あり、工事費は公金により支出にも驚愕！**
覚書を取り交わしている。

問 和水町民グラウンドの北東側
(ゴルフ場側)の造成工事の時期
と工事費は幾らだったのか。

答 (教育長) 平成23年12月から
平成26年3月まで、総工事費は2
億5,200万円となっている。

問 全てが町有地ではなく、民有
地があると聞いたが、本当か。造
成費用は誰が出したのか。

答 (建設課長) 筆界未定の土地
ということ、そのようになった
と思われるが、購入を視野に入れ
検討する。

問 公金により工事費を捻出し、
万が一に覚書を破棄され、相応し
くない建物か何かを、建設された
らどうする。

答 (町長) 中央小学校72件39
7万円、中学校53件331万円の
修繕費。

問 (学校教育課長) ご指摘の通
り、民有地は面積にして7,18
6㎡あり、(株)企画と町の間で、
覚書を締結。



議員 高巢 泰廣
町長 高巢 泰廣
菊水地域学校統合に関する今後の施策と展開方策は。
 既存校舎の改修補整を進めたい。

問 菊水地域における学校統合に関する今後の施策と展開方策について伺う。

答 (町長) 従来の新築方針を変更し、既存校舎の改修再生化による統合を目指す。
 理由は学校統合費を圧縮し、生活基盤事業への財政的余裕を求めらるる為である。

問 小中一貫教育が来年度法制化されるが、菊水だけ小中連携分離型でいいのか疑問である。

答 (教育長) 政府の教育再生会議で小中一貫教育の方向が示された。当町は、未来を切り開く力に身に付けた児童生徒を育成する事で対話能力を強化して、小中一貫を推進する。

問 肥後元気村の使途不明金500万とは？

答 (町長) 有権者の投票に大きな影響を及ぼし、約束事項であると思っっている。

問 選挙公約(選挙運動用ビラ等)の重要性について、どのように認識されているか伺う。

答 (町長) 長きにわたり、議員として議長として、そして副町長として、精一杯町の為に尽くされた。本当に残念でならない記事(選挙ビラ)。



議員 蒲池 恭一
町長 蒲池 恭一
肥後元気村の使途不明金500万とは？
 ……。

問 選挙公約(選挙運動用ビラ等)の重要性について、どのように認識されているか伺う。

答 (町長) 長きにわたり、議員として議長として、そして副町長として、精一杯町の為に尽くされた。本当に残念でならない記事(選挙ビラ)。

問 選挙公約(選挙運動用ビラ等)の重要性について、どのように認識されているか伺う。

答 (町長) 長きにわたり、議員として議長として、そして副町長として、精一杯町の為に尽くされた。本当に残念でならない記事(選挙ビラ)。

問 選挙公約(選挙運動用ビラ等)の重要性について、どのように認識されているか伺う。

答 (町長) 長きにわたり、議員として議長として、そして副町長として、精一杯町の為に尽くされた。本当に残念でならない記事(選挙ビラ)。



議員 松村 慶次
町長 松村 慶次
既存校舎・耐震改修の学校統合は。
 公約どおり進めたい。

問 8月18日の臨時議会により学校統廃合事業で、基本計画策定業務委託事業に対して否決されたが、

答 (町長) 統廃合事業を進める上で、既存学校施設の改修と整備計画を策定し、概算事業費を算出する必要はある。

問 菊水地域の保護者の皆様に、これ以上迷惑かけずに公約どおり、中央小学校、中学校を、耐震改修により、統合を進めるべきと思うが。

答 (町長) 子供たちの安全を第一に考え、それに耐えうる校舎に生まれ変わらせる事が第一であり、専門家の目を通して、設計概算額を提示し進めたい。

問 将来中学校の統合を考えているか。

答 (町長) 人口の推移が今のままに進んだ場合、融和、融合に向けて視野に入れる必要がある。

問 町民の健康管理である、毎年実施されているセット検診の内容、及び検診率は。

答 (町長) 町の健康課題を分析し、健康和水21計画、現在2次計画、和水町特定健康検診、特定保健指導計画を策定し予防効果が高く効率的な事業展開を実施している。

今月の話題

目指せ!! 全国大会出場!!

菊水中学校陸上部

陸上部出身者の船津先生率いる菊水中陸上部(男子13名、女子7名)が、10月22日(水)に行われる「玉名荒尾中体連駅伝大会」に出場する。

男子の部は5区17km、女子の部は5区12kmを競い合う。

玉名郡市・荒尾市の中学校15校のうち、上位2チームが全国大会につながる県大会出場のカップを手に入れることが出来る。

菊水中は8年ぶりとなる県大会出場を目指し、朝の授業前(6~8km)、そして放課後(8~10km)と週6日の練習を続けてきた。

健康管理の自己責任と、部活動以外の日常生活においても日々の積み重ねが大事であり、ライバルは自分自身であるということが陸

上部の伝統となっているそうだ。また、卒業生でもある社会人コーチの導入がレベルアップの向上につながっている。

菊水中学校陸上部の今後の活躍に注目したい。

広報委員 生山 敬之



菊水中学校陸上部(3年生)